

北方型のこの甲虫は北海道、本州中部山岳また台湾でも高山には生息するといわれているが、何れの地にも決して多いものではないらしい。中国山脈の高地では扇ノ山で採集された記録があり、県下では他に城崎郡の三川山での記録もあるが、比較的珍しい甲虫と思うので茲に報告する。

## 城崎産甲虫数種の記録

高倉 康 男

1979年8月1日、観光旅行で訪れた城崎で外灯に来ていた甲虫数種を採集したので記録する。

ベーツヒラタカミキリ *Euryoda batesi* Gahan (1♀)

近くの豊岡、香住からの記録(高橋匡、1975)もあるが兵庫県下の記録は大変少ない。

他に、ニセケゴモクムシ *Harpalus pseudophonoides*, チビキイロゴモクムシ *Acupalpus inornatus*, イツホシツヤゴモクムシ *Stenolophus quinquepustulatus*, ゴミムシ *Anisodactylus signatus*, オオツヤホソゴミムシ *Menophilus arciscelis*, ハネナシセスジキマワリ *Strongilium marseuli*, ヒメキマワリ *Plesiophthalmus laevicollis*, ゴマフガムシ *Berosus signaticollis*, ヒメサクラコガネ *Anomala geniculata*, スジコガネ *Anomala testaceipes* が採れた。カミキリについて御教示いただいた高橋寿郎氏に厚く御礼申上げる。

## 夢前町雪彦山にナガサキアゲハ

堀 紳 二

1978年9月10日に飾磨郡夢前町雪彦山にて、ナガサキアゲハを目撃した。

最初、同行した妹が見つけたもので、光沢のある黒色が見事な、新鮮な雄であった。

この個体は見事に筆者が採り逃がし、あっという間に山の中へ消えてしまった。

しかし、しばらくすると、また悠々と川に沿って飛んで来た。どうも蝶道を作っているらしく、その後も5回程同じ所を飛ぶのを観察した。又、筆者が観察していた所より、ずっと道を下った所でも妹は目撃したとのことで、目撃した個体が非常に新鮮なことでもあり、一時的に発生していたのかもしれない。この疑問をもって今年(1979)は4月、5月、7月に各1回当地を訪れたが目撃